

令和 6 年 1 月 31 日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称…小規模多機能型居宅介護 ひびすくす

サービス種類…地域密着型サービス

会議開催日…令和 6 年 1 月 31 日

開催場所…ひびすくす ホール

出席者

事業所	2 人	利用者	1 人
利用者家族	人	地域代表者	人
松江市職員	1 人	包括支援センター	人
知見を有する者	人	その他 ()	人

議事

活動状況報告

※別紙報告書参照。

意見交換

※別紙議事録参照。

※事業所確認欄

☐ 活動報告についての評価を受けることができたか。	
☐ 要望・助言等受ける機会を設けたか。	

小規模多機能型居宅介護 ひびすくす 運営推進会議報告書(12/1月)

R6年1月31日現在

・利用定員

登録 24 名 (男性 6名 女性 18名)

新規登録者 3 名 (12/1～)

・平均介護度 1.75 ・平均年齢 85.6 歳

要支援 1 3 名 要支援 2 2 名

要介護 1 9 名 要介護 2 4 名

要介護 3 2 名 要介護 4 4 名

要介護 5 0 名

●行事について

12月5日 外出行事(寿司屋)

12月12日 誕生会(ハンドベル・月ヶ瀬お団子)

12月26日 クリスマス忘年会(おでん鍋、クリスマスダンス他)

1月12日 新年会(書初め、抹茶会)

1月25日 誕生会(芋タルト作り、ゲーム他)

●活動状況

12月

12/5、宍道湖温泉駅近くの、「徳さん」へ寿司外出へ出かけました。お刺身などは、施設内で提供できる機会がなかなかないため、特に泊まりご利用者の皆様は大変喜ばれました。海鮮丼や握り寿司を楽しめました。

12/12、誕生会を行いました。この日の為に練習した「きよしこの夜」を職員がハンドベルで演奏し、温かい拍手をいただきました。ご利用者様からご希望が多かった「お団子」を取り寄せ、煎茶で召し上がりました。月ヶ瀬の団子は、松江の皆さんに馴染み深かったご様子で、想い出話を和気あいあいとお話されていました。

12/26、クリスマス忘年会を行いました。新型コロナの影響で、ずっと及びできなかった近所の大家さんをご招待して、和やかにおでん鍋を囲む事ができました。1年間、ひびすくすで過ごしていただいた日々を振り返り交流しました。

クリスマスの飾り付けをご利用者にご協力頂き、職員はダンスや仮装をして賑やかな会となりました。

1/12、新年会を行いました。前半はご利用者の皆様に書き初めを書いていただきました。その

後、書初め披露とともに今年の抱負を一人一人お話しして下さいました。風流堂の干支朝汐を準備し、抹茶で召し上がって頂きました。出来る方は自分でお抹茶をたてるなど、見事な腕前を振る舞われました。また、普段コミュニケーションをとることが困難なご利用者様も、抹茶には「美味しい」とのお言葉や、おかわりもして下さいました。

1/25、誕生会を行いました。お菓子作りを先に行い、芋タルトに思い思いのデコレーションをされ、今風の「映える」スイーツを調理され、喜んでおられました。「こんなの初めて食べる」と、面白がっておられる方も多くいらっしゃいました。

●今後の活動・レクリエーション予定

2/9：節分会

2/22：お楽しみ昼食会（餃子定食作り）

●ヒヤリハット・事故報告

◎ヒヤリハット

- ・ホールテーブルで、突っ伏しておられるが車椅子のブレーキをかけていない。
→職員が勝手にブレーキをかけると気分を害される方。ソフトな声かけで自分でかけていただく。
- ・台所に置いてあった職員分の昼食を、A様の昼食だと思って、食欲のないA様へそれをおにぎりにして提供した。（A様の昼食は破棄された後だった）
→ご利用者と職員の昼食は同じところに置かない。名札を付ける、確認する。
→破棄した時間が早すぎる。昼食は冷蔵庫で14時まで保存する。（14時に破棄）
- ・A様のベッドに、B様のラバーシートが敷いてあった。すぐ取り替えて洗濯した。
→名前を必ず確認する。

◎事故報告

- ・在宅にて独居のC様宅訪問中、転倒事故あり。
職員がデイサービス送迎し、C様を自室ベッドまで誘導。その後、ヘルパ業務に入るため一旦外に出て公用車をキレイに駐車し直す。再びC様の所へ戻ると、自室で転倒しておられた。
→「C様は何かしようとしてコザコザしてたら、フラッとして転んだ。」と曖昧。
普段から自立で屋内移動されてはいるが、支援中の転倒には十分気を付ける。対策では、ご利用者の傍を離れる時は、ご本人が何か気になる事はないか声掛けをして、なるべく解決してから介護者は動くようにする。

●職員研修、スキルアップ関係

12月、介護実務者研修修了者1名

●12、1月について

12月年末に向け、在宅・泊まりの方両方とも急な体調悪化や、入院が多くありました。脑梗塞、尿路感染症、難病、転倒による骨折等々、たて続けに起こったため、対応に苦慮しました。冬季になり寒くなると、高齢者の方々は生活機能が停滞していきます。結果、血流が悪くなる、トイレを我慢する、水分を摂らない、筋力低下する、持病が悪化する、他の病気を引き起こす…といった悪循環が引き起こされ、今回ご利用者様の体調不良に繋がった面もあると反省しています。

特に在宅で一人暮らしをされている方の生活を健やかに保つ、ということは、ご本人の気持ちやライフスタイルがあり、介入が大変困難です。

普段からしっかり信頼関係を築くよう努め、みなさまの心身の健やかさが維持向上できるように、支援としての関わりもより深いものを目指していきたいと考えています。

また、新型コロナ・インフルエンザについては、現在も油断ならない状況です。公から配布頂いている簡易キットをしっかりと活用し、施設に持ち込むことがないように水際対策を今後も継続してまいります。